

## **第2回（仮称）子ども未来館開設準備委員会**

- ・日時 2026年（令和8年）2月9日（月）14：30～
- ・場所 福山市役所 議会棟4階 理事者控室

### **■次第**

1 開会

2 議事

（1）事業概要について （資料1）【公開】

（2）事業者公募について （資料2）【非公開】

3 閉会

(仮称) 子ども未来館開設準備委員会 委員一覧

【委員】

No	名前	なまえ	所属先	所属部署	役職等
1	稻垣 卓	いながき たかし	福山市立大学		名誉教授
2	的川 泰宣	まとがわ やすのり	JAXA (宇宙航空研究開発機構)		名誉教授
3	桑原 正光	くわはら まさみつ	ソフトバンク株式会社	次世代社会インフラ推進室 福山イノベーションセンター	センター長
4	香川 直己	かがわ なおき	福山大学	工学部電気電子工学科	教授
5	宮原 裕美	みやはら ゆみ	日本科学未来館	科学コミュニケーション室	調査役

【オブザーバー】

No	名前	なまえ	所属先	所属部署	役職等
1	瀬尾 裕希	せお ゆうき	福山商工会議所	青年部	副会長
2	東 晃弘	あずま あきひろ	福山青年会議所		副理事長

【ファシリテーター】

No	候補者	なまえ	所属先	所属部署	役職等
1	本田 隆行	ほんだ たかゆき	合同会社sou		科学コミュニケーター

# 福山市（仮称）子ども未来館整備運営事業

---

## 事業概要書（案）

2026年（令和8年）2月

---

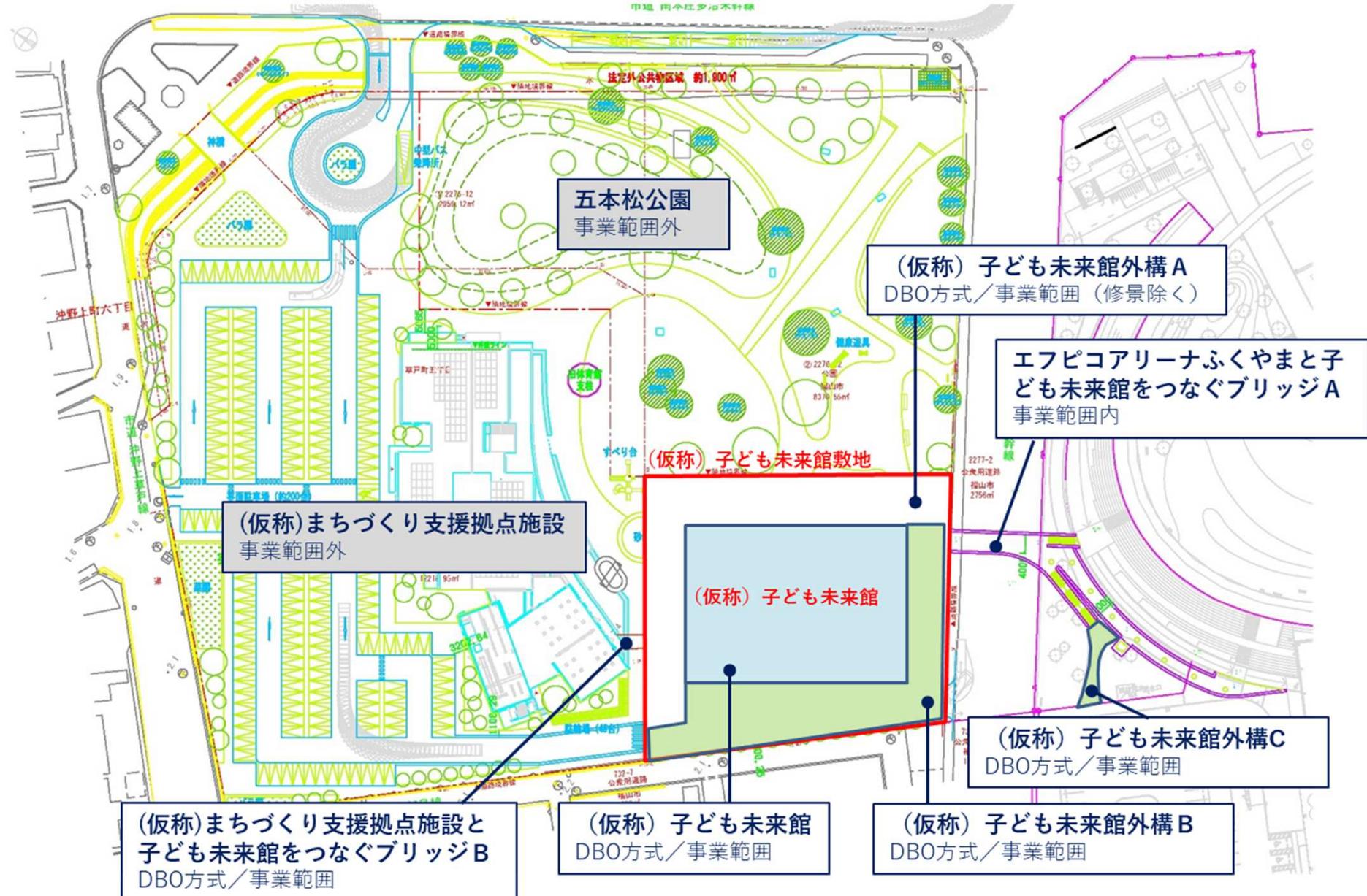
福山市企画財政局企画政策部 未来館設置準備室

## 【目的】

- ・ 「（仮称）子ども未来館」（以下「子ども未来館」という。）は、これから時代に求められる人材を育成するために、科学や技術に触れることで以下の2つの能力を養うことができる施設として設置する。

- ① 科学的な考え方をベースとした課題解決能力
  - ② デジタル技術を活用する能力

- 子ども未来館の施設整備等に加え、エフピコアリーナふくやまや（仮称）まちづくり支援拠点施設とつなぐ**ブリッジも事業範囲**とする。

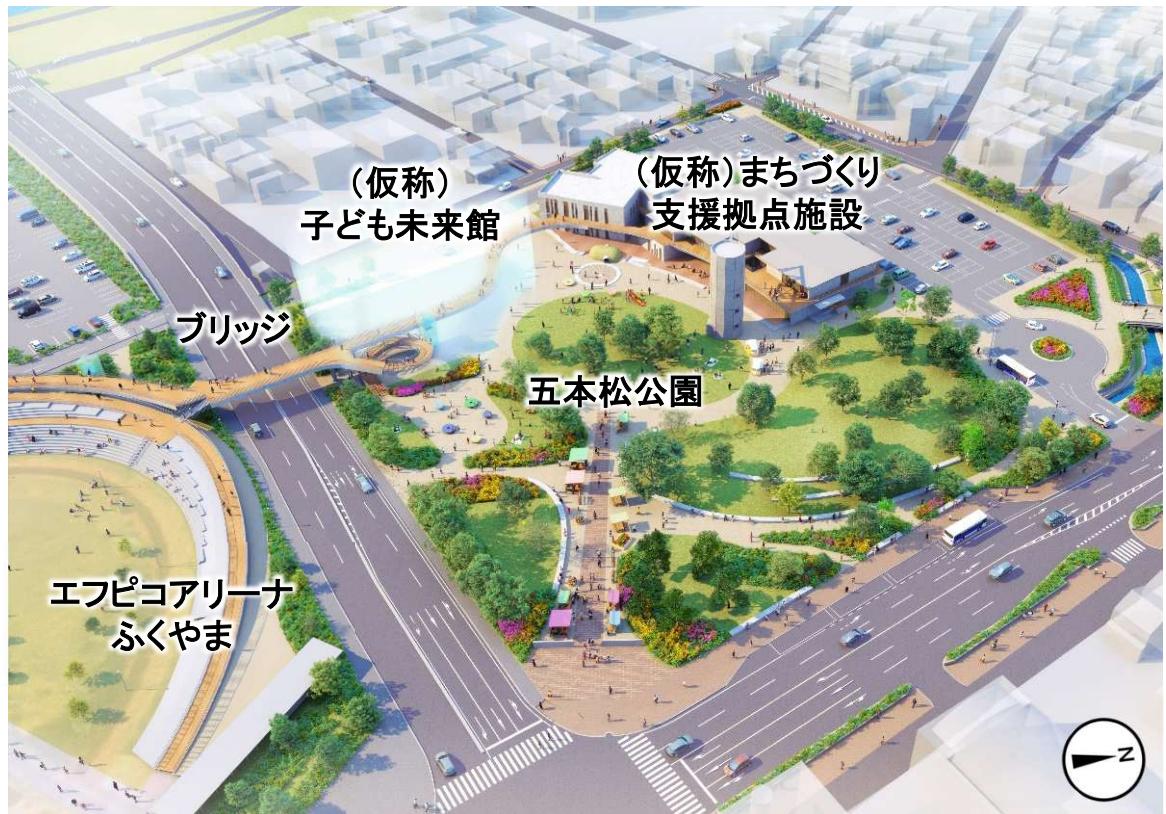


## (整備地)

- 本事業の整備地は、JR福山駅の南方約2.5kmにある「**旧福山市体育館跡地・五本松公園内**」



旧福山市体育館跡地及び五本松公園内 施設配置等イメージ図



※イメージ図であり、今後変更の可能性があります。

※「いのちの遊び場 クラゲ館」の配置は現在検討中です。

## 【大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」の移築】

- 移築場所：五本松公園内を検討中。
- 移築対象：地上部分（大屋根）※地下階は除く。
- 移築時期：未定

### ■いのちの遊び場 クラゲ館



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

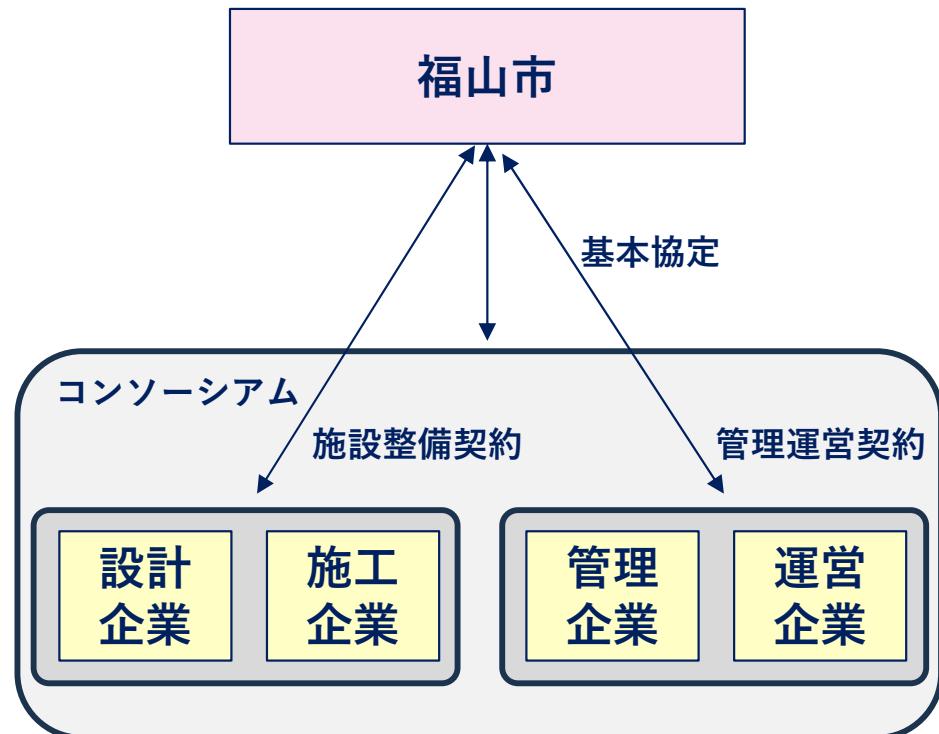
### 【事業手法】

- 本事業の事業手法は**DBO方式**、維持管理運営期間は**約9年3か月**。
- 指定管理者制度**による運営及び**利用料金制**を導入。（今後変更の可能性あり。）

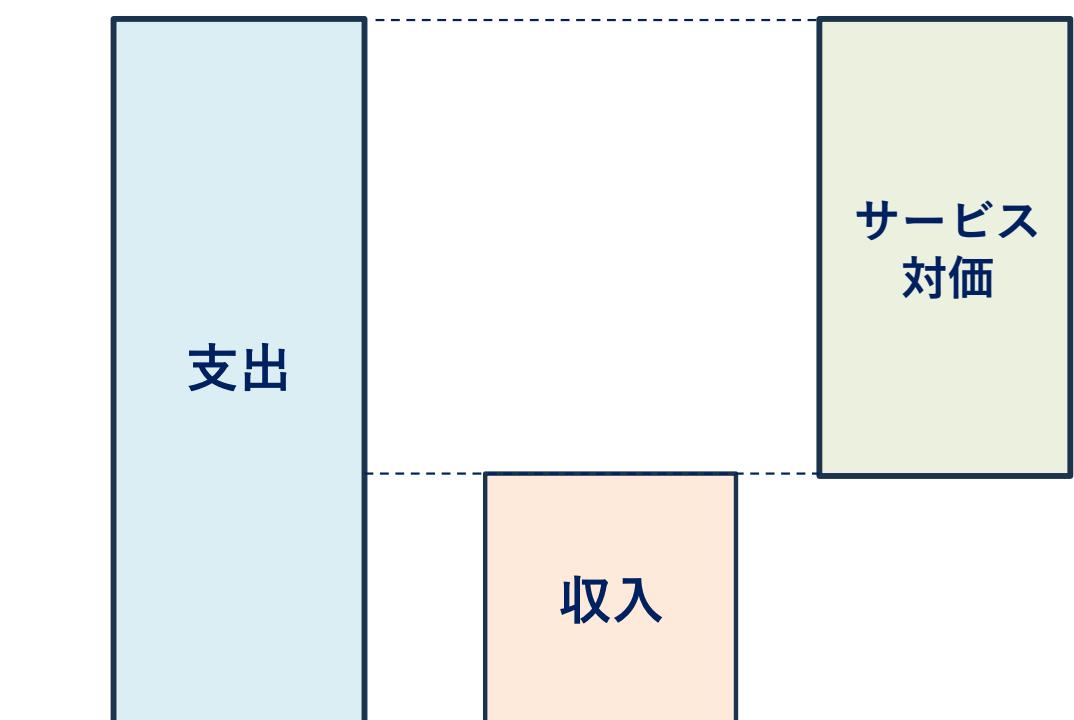
※収入の需要変動リスクは事業者のリスク分担とする予定。

※一定以上の収入があった場合に、市に還元する仕組み（プロフィットシェア）も検討。

#### ■DBO方式



#### ■指定管理者制度／利用料金制



## 【基本理念】

知的好奇心を喚起し、未来に向けて挑戦する心を育む

- ・ "STEAM"教育分野を扱いながら、同時に未来を考える上での大切な視座を与える要素として“歴史”的視点を取り入れ、各分野を設定。



### 【目標利用者数】25万人／年

<内訳>

常設展：11万人 企画展：4万人 ワークショップ：3万人 その他（ライブラリー等）利用者：7万人

### 【子ども未来館の目標像】

1 新しい技術の体験や知識の獲得

主要なキーワード

最新科学や技術・好奇心・探求心

2 課題発見・解決能力の向上

体験・主体的（自ら）・課題解決

3 主体的な参加を通じた自己肯定感の醸成

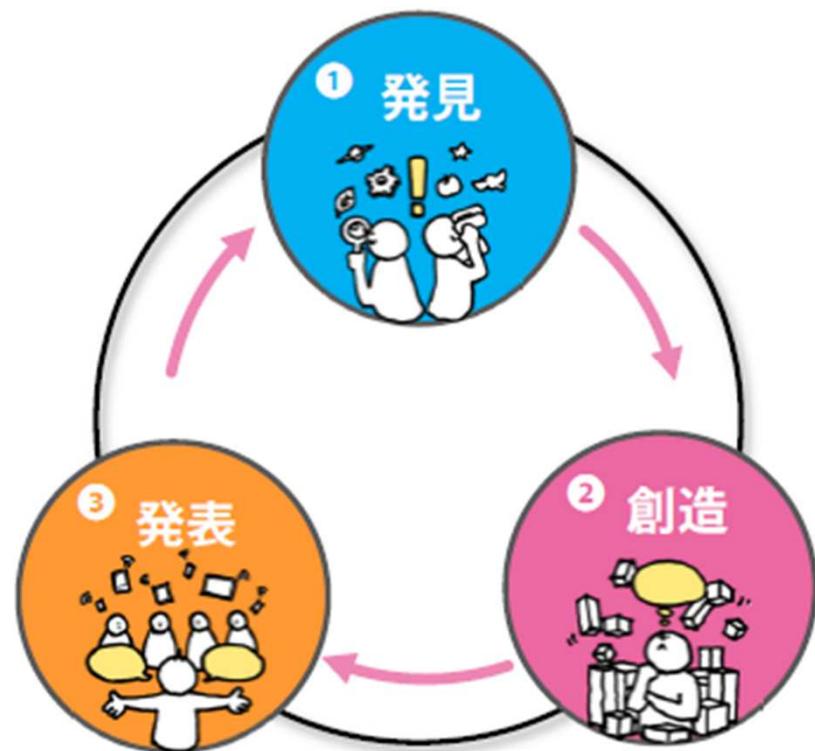
とことん探究・サードプレイス

4 多様な主体とのつながり

異属性交流・積極的に連携

## 【事業の方向性】

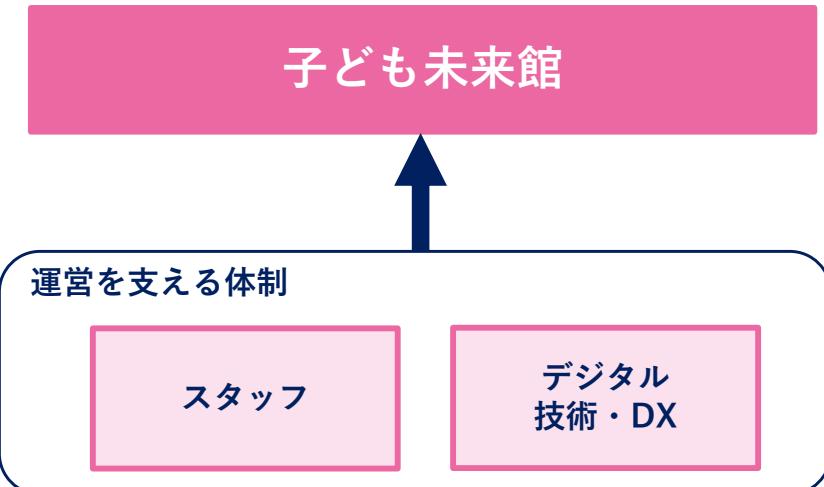
子ども未来館で体験できる「発見」  
「創造」「発表」のプロセス



## 【デジタル技術やDXの導入】

### 目的

- ・先端技術に触れる機会の創出
- ・“未来館”としての魅力向上、発信
- ・効率的な運営体制の構築



■サービスロボット「AYUDA」

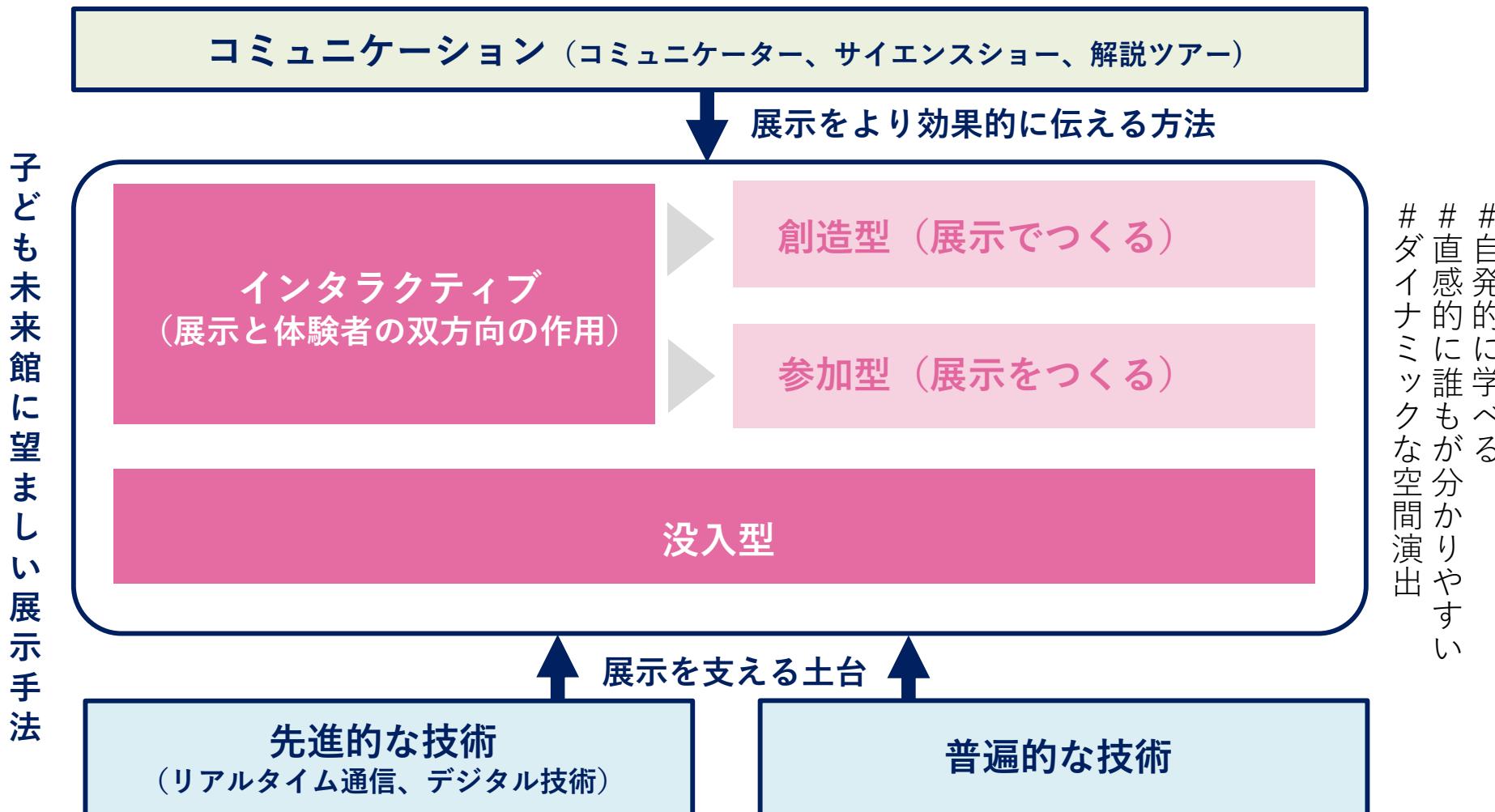


### 展開例

- ・ロボットによる施設案内
- ・AIカメラやセンサーにより入場者数を集計・属性分析し、運営の改善に活用

### 【望ましい展示手法】

- ・先進的な技術を活用したインタラクティブな展示や没入感のある展示を望ましい手法とする。
- ・展示をより効果的に伝えるため、コミュニケーターの配置や解説ツアー等を開催。



# 7 常設展示の方向性

【創造型】

展示 → 体験者

- 展示を通して作品を製作することが可能。
- 作品を持ち帰る等、一過性の体験ではなく継続的な学びのきっかけになる場を提供。

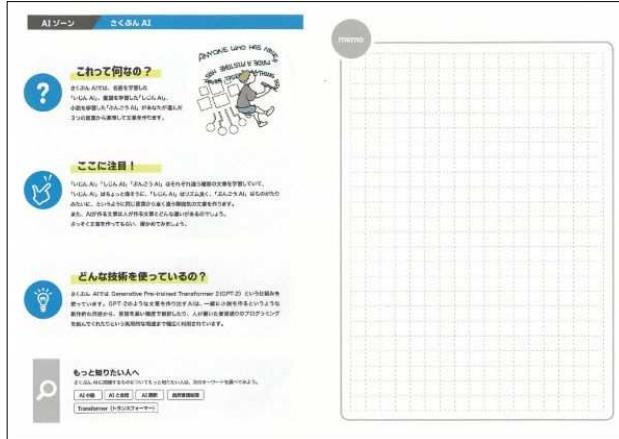
## ■ バンドー神戸青少年科学館 「フューチャー・パス」



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

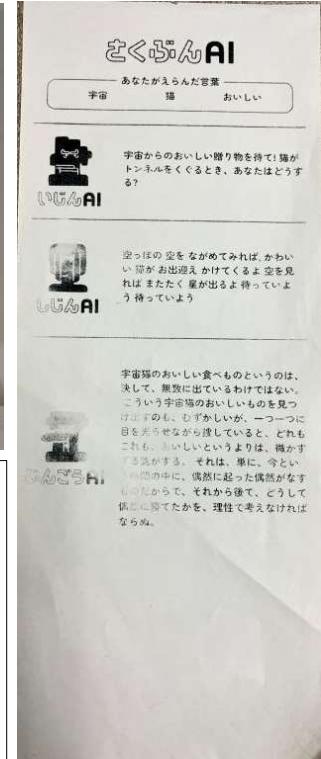
神戸に関するテーマに沿って新聞を作成する。二次元コードを介して持ち帰りが可能。

## ■ バンドー神戸青少年科学館 「さくぶんAI」



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

体験者が選んだ言葉をもとに、3種類のAIが文章を作成する。最後に出てくるレシートや二次元コードを介して持ち帰りが可能。



## 【参加型】

展示

← 体験者

- 体験者の反応や選択に応じて展示が自動的に変化することで**展示に参加するような体験。**
- 展示に入り込みやすくなるよう、一定程度閉鎖された空間利用とする。**

■ バンドー神戸青少年科学館  
「星の一生」



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

センシング技術により星とおしが引き合い、収束して星になり爆発する万有引力の現象を参加して学べる展示物。

## 一定程度閉鎖された空間

■ YUMESAKI GALLERY  
「天文の島」



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

■ 品川区立環境学習交流施設  
「エコルとごし」



出典：品川区立環境学習交流施設  
「エコルとごし」 提供

■ 大阪科学技術館



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

## 【没入型】

- ・ 高精細かつイマーシブ構造（曲面型や多面体型など）の大型LEDビジョンなどにより、没入感のある鑑賞に特化した仕様とする。
- ・ 様々な分野において、視覚効果や演出などによって、こどもたちが優れた学習効果が得られるような展示とする。

■日本科学未来館 「プラネタリークライシス」



出典：日本科学未来館

■VS



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

■デジタル文化財ミュージアム  
KOISHIKAWA XROSS



デジタル文化財ミュージアム  
KOISHIKAWA XROSS®

出典：TOPPANホールディングス株式会社WEBサイト  
[https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2024/07/newsrelease240703\\_1.html](https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2024/07/newsrelease240703_1.html)

### 【展示分野】

- 基本計画では、以下の 8 つの分野と 15 の項目を展示のテーマとして例示。



## 【展示構成】

- 基本計画で例示した分野と項目をベースとし、分野は3つ程度のテーマに分類したうえで、STEAM+歴史の視点から、展示に関するキーワードを設定。

【例】※テーマやキーワード設定の参考であり、子ども未来館の展示構成を定めたものではない。

<u>テーマ例</u>	<u>分野</u>	<u>項目</u>	<u>STEAM+歴史</u>	<u>キーワード例</u>
世界を知る	宇宙	フロンティア	×歴史	・ 宇宙開発の歴史
	生命	ライフサイエンス	×科学	・ 人体の不思議
	自然	生物多様性	×工学	・ 自然界の循環

## 【展示構成】

- ・ テーマやキーワードの設定及び全体構成は事業者提案。
- ・ ベースとする基本計画で例示した分野や項目は、柔軟に解釈し、適宜変更や追加が可能。

**【例】**※テーマやキーワード設定の参考であり、子ども未来館の展示構成を定めたものではない。  
※利用者のニーズ等を踏まえて、運営期間中に協議のうえ、承認を得た場合には変更可能。

テーマ例	分野	項目	キーワード例
世界を知る	宇宙	フロンティア	●宇宙開発の歴史 ●：重要なキーワード例
未来を見つめる	生命	ライフサイエンス	●人体の不思議
生活を彩る	自然	生物多様性	●自然界の循環
など	情報	地球	●気象現象
	都市	A I	●数の不思議
	暮らし	仮想空間	・ミクロの世界
	健康	インフラ	・生物系分布
		モビリティ	・ロボティクス研究
		ロボティクス	・人工超知能
		医学	・高度交通システム
		ウェルネス	・スマートシティ
		スポーツ	・拡張現実スポーツ
		防災	・暮らしの安全確保
			・医療技術開発 など

## 【敷地条件】

所在地	• 福山市草戸町五丁目地内
敷地面積	• 約3,800m <sup>2</sup>
用途地域	• 第一種住居地域
建ぺい率・容積率	• 建ぺい率60%、容積率200%
主な規制	• 日影規制（住宅地への日影を考慮すること） • 津波の浸水想定区域（0.3～1.0m）

※電気の引込みは、道路で囲まれた敷地（子ども未来館、（仮称）まちづくり支援拠点施設、五本松公園）で1引込みとし、子ども未来館の引込みを分岐して、（仮称）まちづくり支援拠点施設等に配電する想定。

## 【建物条件】

延べ面積	• 約5,400m <sup>2</sup>
構造	• S造、RC造又はSRC造
階数	• 3階
設備レベル	• Nearly ZEB以上
耐震安全性の基準	• 構造体：II類（重要度係数 I = 1.25） 建築非構造部材：A類 建築設備：乙類

## 【意匠性】

- デジタル技術や最新技術等の子ども未来館らしさを外観から感じられ、館内の活動が外からも見えるデザイン。
- 誰もが訪れやすく、また、周辺施設等の利用者が訪れたくなる魅力を持続できる建築物であり、備後圏域の象徴となるようなデザイン。
- 全世代交流型エリア内の各施設等と調和のとれたデザイン。

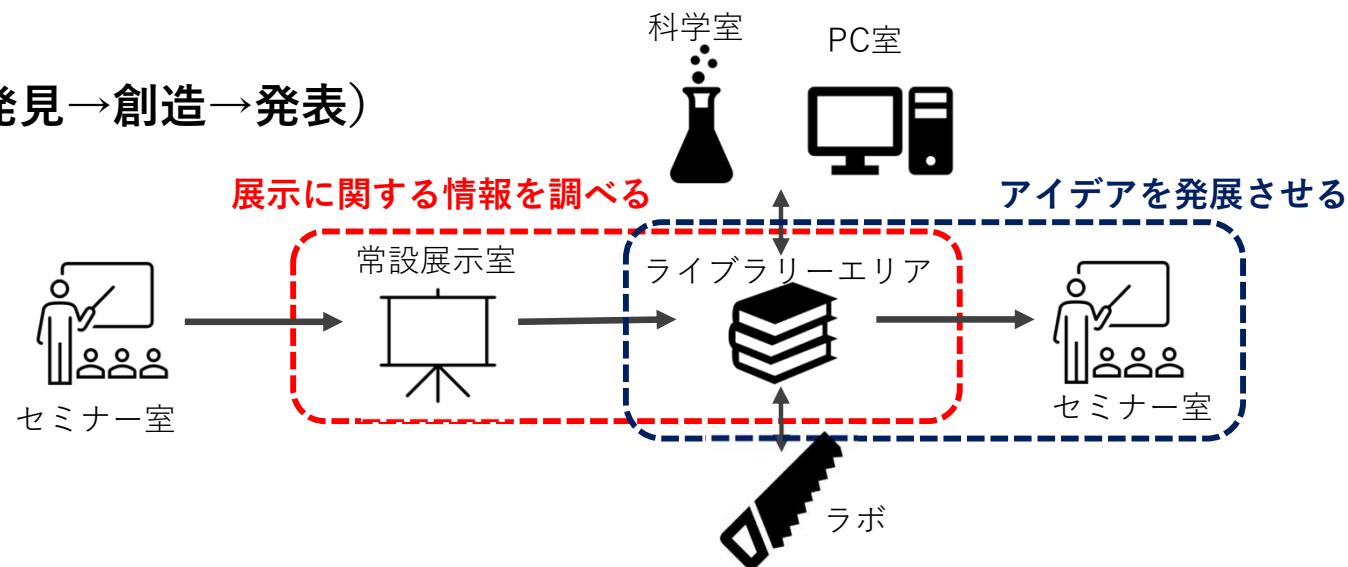
## 【諸室構成】

- 公募では展示に関する諸室の面積のみ示し、他諸室は想定する利用用途や人数を提示。

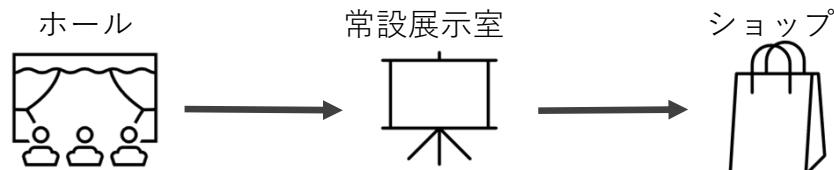
諸室		面積	諸室の概要
展示	常設展示室	1,000m <sup>2</sup> ( <b>±10%</b> )	先進的な技術による展示体験
	ホール	450m <sup>2</sup> ( <b>±10%</b> )	企画展、巡回展に対応可能な面積を確保
1日学習	セミナー室		1日学習（オリエンテーション）や昼食のスペース、生徒等の放課後利用等、多様な目的で利用
	実験スペース（科学室+PC室）		1日学習や活動プログラム、クラブ活動等で利用、講座や実習に適した形にレイアウト変更ができる等、可変性の高い形で整備
	ラボ		
他	ライブラリーエリア		ICT等を活用し、自発的学びが生まれる空間を整備
	ショップ		オリジナルグッズや商品（カプセルトイなど）、飲食物を販売
	事業者提案スペース		子ども未来館の整備コンセプトに沿った機能・空間を整備（事業者の自由提案スペース）
共用部			—
延べ面積		約5,400m <sup>2</sup>	—

## 【ペルソナ】

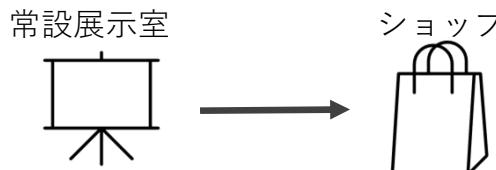
### ①一日学習（発見→創造→発表）



### ②企画展示を目的とした来館



### ③常設展示を目的とした来館

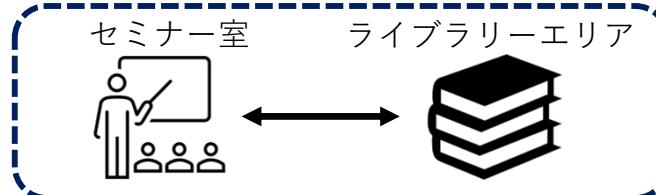


### ④未就学児連れの親子



### ⑤生徒等の放課後利用等

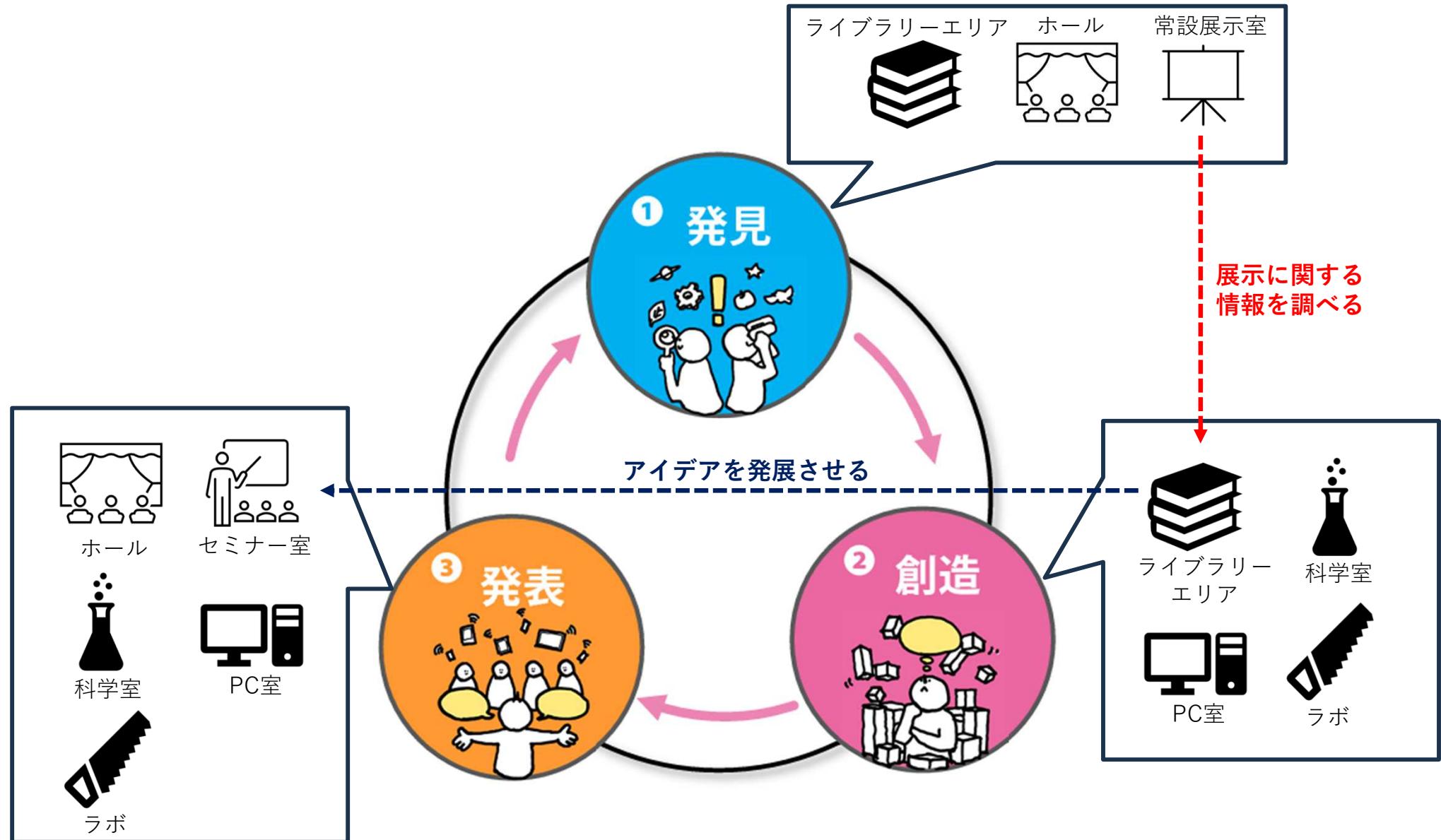
生徒等の放課後利用等、気軽な利用



### ⑥活動事業を目的とした来館



## 【事業の方向性と対応する諸室】



## 【諸室の使い方のイメージ】

小

平日

午前

午後

休日

午前

午後

企画展、巡回展

企画展、巡回展

読書

ライブラリーエリア

読書

オリエンテーション

昼食スペース

自習（放課後利用）

工作教室

セミナー室

セミナー・イベント

昼食スペース

ラボ

工作イベント

最新製品の実証実験

クラブ活動

実験教室

実験スペース

研究者レクチャー

実験スペースの貸出し



市民団体共催イベント

プログラミング体験教室

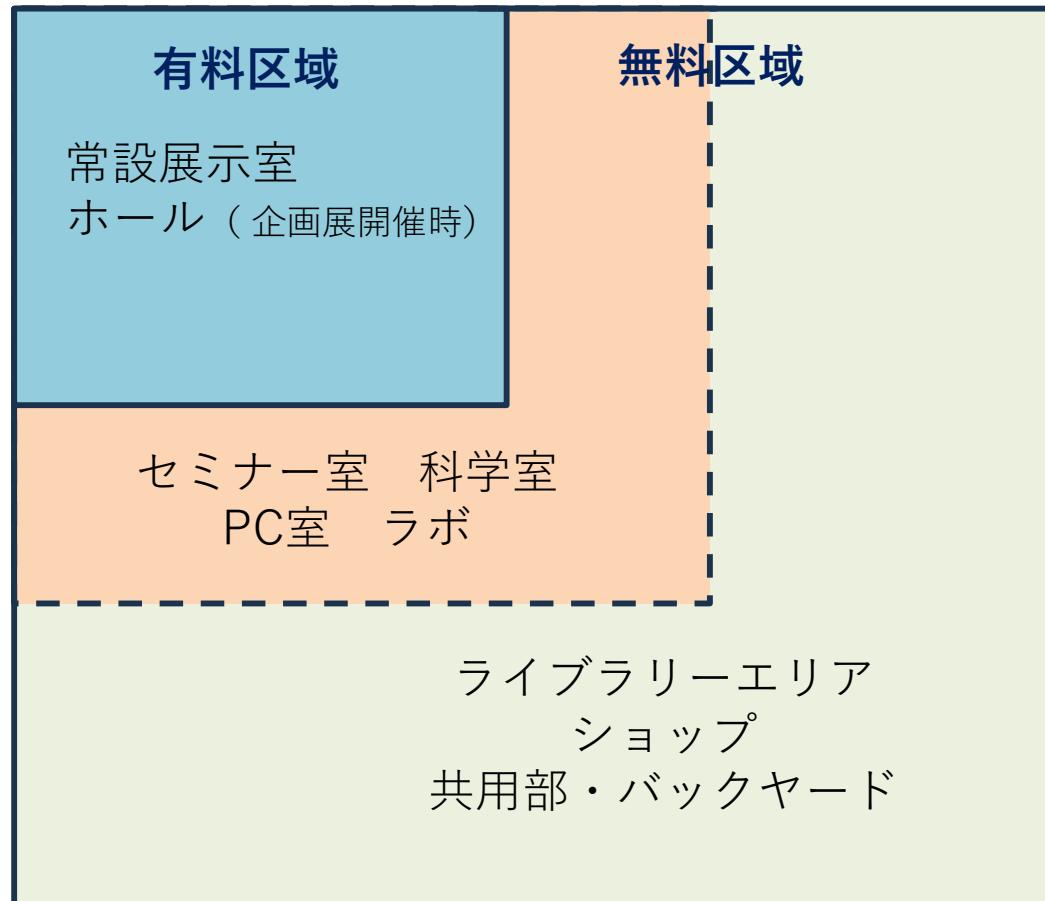
クラブ活動

可変性

高

### 【有料区域と無料区域】

- 常設展示室とホールは有料区域、その他の諸室は無料区域へ設置。
- セミナー室や科学室、PC室、ラボは有料区間を介さず利用できるよう整備。



## 【諸室イメージ】

### ■常設展示室

#### ワンフロアで見通しの良い空間



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：福山市撮影

自由な体験や学びをもたらすフリーチョイスラーニングの場として、ワンフロアで見通しの良い空間を整備。科学実験や実演、工作等ができる場を2か所以上設置。利用者が楽しみながら学べる、サイエンスショーやワークショップを実施。

#### 一部空間が閉じられた没入空間等



出典：日本科学未来館



出典：北九州市科学館 スペースLABO HP



出典：はこだてみらい館提供

没入型展示等で空間を閉じる必要がある場合等、展示内容・展示手法に応じて空間を分割。

## 【諸室イメージ】

### ■ホール：企画展、巡回展の開催、子ども未来館アワードの開催 等

#### 無柱空間



日本科学未来館

出典：日本科学未来館提供



大阪市下水道科学館

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

自由な展示レイアウトが可能となるよう、**無柱空間**とする。多様な企画展や他館の巡回展に対応できる広さ、天井の高さで整備。

#### 可動壁・仮設壁



富山県美術館

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

可動壁・仮設壁を設置。

#### 自由度の高い照明設備と音響設備

日本科学未来館



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

多様な規模、内容の展示・イベントを想定し、ライティングレール等、**自由度の高い照明設備と音響設備**を設置。



杜の街グレース

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

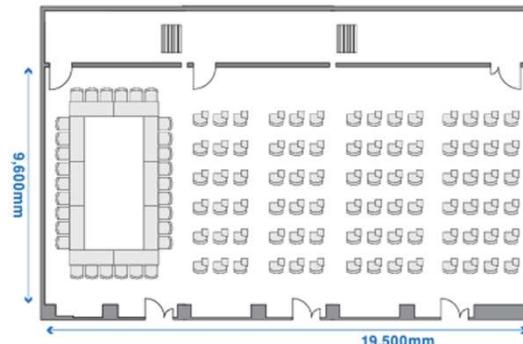
## 【諸室イメージ】

### ■セミナー室：イベントやセミナーの開催、校外学習の受け入れ（オリエンテーション等で使用）等 分割利用



出典：日本科学未来館

複数への分割利用を想定し、移動式の間仕切りを設置。



出典：日本科学未来館

### 室内の可視化



出典：須賀川市民交流センター tette HP

可能な限り室内の可視化に配慮。ただし、セミナーやイベント等での使用を想定し、カーテン等で一時的に不可視化できるよう整備。

### ライブラリーエリアとの一体的な空間演出



出典：小千谷市提供



出典：小千谷市提供

ライブラリーエリアとの一体的な運用。ただし、多用途への利活用を想定し、間仕切り等によるセミナー室単体での利用も可能とするよう整備。



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

## 【諸室イメージ】

### ■科学室：実験教室 等

多用途に使用可能



出典：福岡市科学館

流しやガス栓等の設備を実験台に取り付けず1か所に集約する、可動机とする等、講義や実習に適した形に机や椅子のレイアウト変更ができるよう整備。



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

### ■PC室：プログラミング体験教室 等

インターネット環境



出典：福岡市科学館

PC等を準備し、インターネット接続やタブレット等の充電が可能な環境を整備。

### ■ラボ：デジファブ工作教室 等

利用者同士の共創を促す空間



出典：福岡市科学館

オープンなミーティングエリアを設ける、講義や実習に適した形に机や椅子のレイアウト変更ができる等、利用者同士のものづくり共創（アイデアやノウハウの共有）を促すための空間を整備。



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：はこだてみらい館提供

## 【諸室イメージ】

### ■ライブラリーエリア：科学や展示に関する書籍等を中心とした情報ライブラリー

#### 居心地の良い空間・設備



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

靴を脱いで座ることのできるスペースやソファの配置等、居心地が良くくつろげる空間や設備を一部に設置。

#### 自発的学びが生まれる空間



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

#### こども向けのスペース



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

低い書架の設置や読み聞かせスペースの整備等、未就学児連れの親子が利用できる  
こども向けのスペースを一部に設置。



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

#### 一体的な空間演出



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

通路等との間を必ずしも区切る必要は無く、  
一体的な空間演出を行うことも可とする。  
壁を設ける場合でも、室内の可視化を行い、  
開放的な空間を整備。

## 【諸室イメージ】

### ■事業者提案スペース



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

運営内容や子ども未来館の整備コンセプトに沿った事業者提案スペースを整備。なお、周辺施設の状況に配慮したうえで、以下のいずれかの要件を満たすこと。

- ア 施設の魅力及び集客効果を高めるもの
- イ 入館者の利便性向上に資するもの
- ウ 地域課題の解決（企業の実証実験等）につながるもの

## 【諸室イメージ】

### ■共用部（オープンスペース）：エントランス、総合案内 等

利用者を歓迎する空間



出典：福岡市科学館

最新のデジタル技術を活用する等、科学への興味・関心を喚起する空間を整備。

快適な滞在空間



出典：日本科学未来館

利用者の滞在を快適なものとするため、椅子、テーブル等を設置。ただし、イベント等の実施を想定し、可動式の椅子やテーブル等を設置。

情報発信の場



出典：(株)オリエンタルコンサルタント撮影

館内案内及びイベント企画情報案内を目的とした情報端末機器やパンフレットスタンドを設置。

### 総合案内の整備等



出典：(株)オリエンタルコンサルタント撮影

総合案内にはカウンターのほか、料金案内・イベント企画情報案内を目的としたデジタルサイネージ、入場券の券売機等必要な設備を設置。なお、券売機の設置台数は事業者提案とし、有料区域の入退場をデジタル技術等により管理できるよう適切な場所に設置。



出典：福岡市科学館



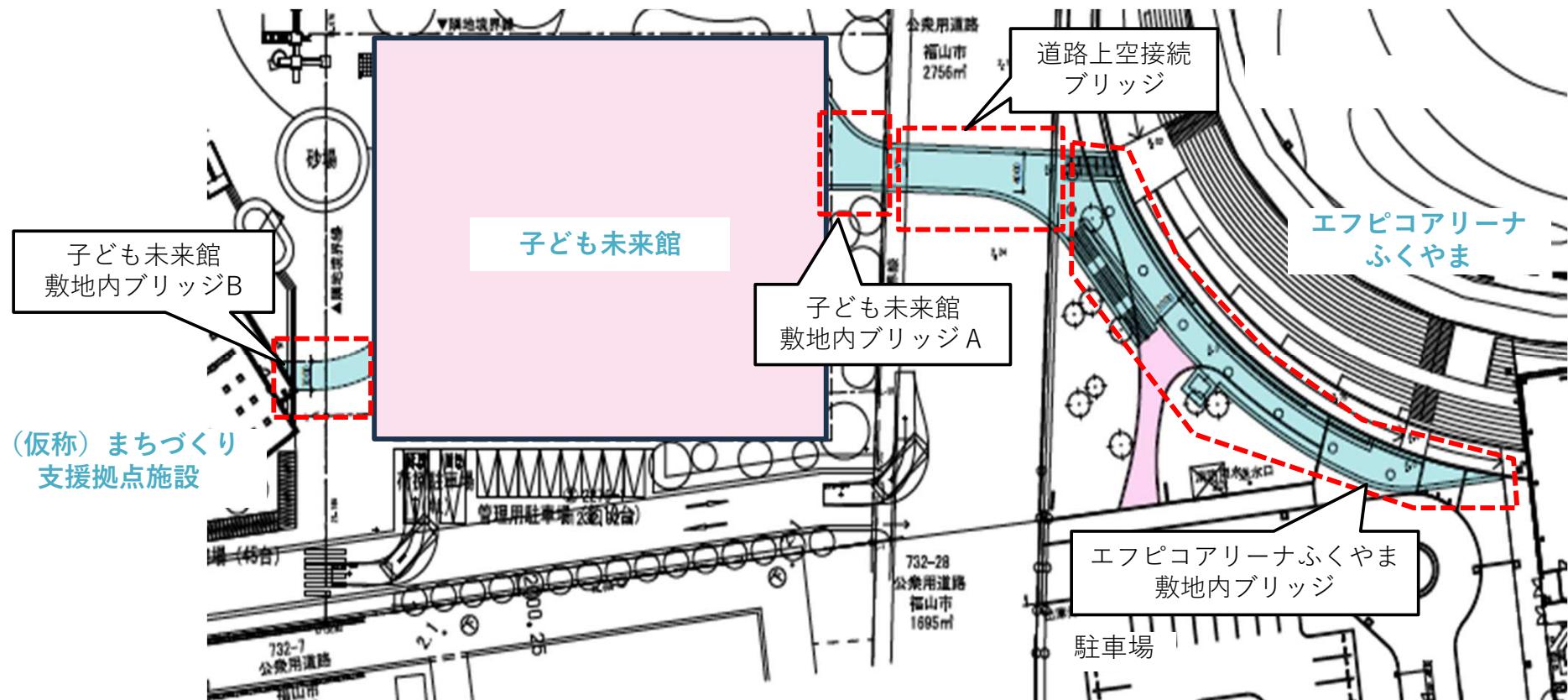
出典：(株)オリエンタルコンサルタント撮影

## 【ブリッジの水準】

- 子ども未来館、（仮称）まちづくり支援拠点施設、エフィコアリーナふくやま、かわまち広場がシームレスにつながり、にぎわいの創出や回遊性を向上させるためにブリッジを整備。

## 【ブリッジの意匠性】

- 旧福山市体育館のレガシーであるトラス構造の円筒柱と調和するデザイン。
- 路面や親柱等に子ども未来館の入り口としてふさわしいデザイン。
- 全世代交流型エリア内の各施設等と調和のとれたデザイン



## 【ブリッジの水準】

### 【共通仕様】

- ・バリアフリー新法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）に即した計画
- ・調和のとれたデザイン
- ・各施設や敷地、道路等の高さを考慮

### 【道路上空接続ブリッジ】

- ・有効幅員：4.0m以上
- ・構造基準：建築構造
- ・道路幅：約20m 手城水呑幹線
- ・建築制限（4.5m以上）に加え保全作業等の予備空間を確保

### 【エフピコアリーナふくやま敷地内ブリッジ】

- ・スロープ及び階段：有効幅員：3.0m以上
- ・エフピコアリーナ駐車場からのアクセスに必要な階段及びエレベーターの設置
- ・ブリッジとエフピコアリーナデッキとの段差解消（階段・スロープ等）
- ・園路及び既存デッキの改修計画

### 【子ども未来館敷地内ブリッジA】

- ・子ども未来館の2階レベル以上の接続
- ・五本松公園への動線の確保（階段・エレベーターについては子ども未来館と兼用可）

### 【子ども未来館敷地内ブリッジB】

- ・有効幅員：3.0m以上
- ・（仮称）まちづくり支援拠点施設の2階みはらしデッキと子ども未来館を接続

## 【初期条件】

## ■開館日・休館日・開館時間

開館日	平日（火曜日のぞく）、土日 【開館日数：317日】
休館日	週一日（火曜日）、年末年始 【休館日数：48日】 ※火曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌平日に休館 ※小中学校の夏季、冬季、学年末等の休業期間は休館しない
開館時間	9：00から18：00まで ※セミナー室、ライブラリーは9：00から20：00まで

※開館日数及び休館日数は2029年度における日数。

※開館時間は事業者提案により延長することも可能。

## 【運営内容の水準】

### ■常設展示事業

#### 【業務内容】

- 様々なテーマに対して、利用者の興味に応じて自由に学び考えられる展示。
- また、誰もが直感的に分かりやすい楽しい体験を通じて、興味・関心・好奇心を喚起する展示。

#### 要求水準

##### 展示の案内及び解説

- 利用者に展示や活動プログラムを分かりやすく伝え、面白さを発信し、興味・関心や意欲を引き出し、様々な挑戦をサポートする人材（コミュニケーター）を配置。

##### 展示の更新

- 各テーマについてリニューアル感を創出できるよう、**事業期間6年目を目指して展示の一部更新**を計画。



出典：日本科学未来館

### ■企画展示事業

#### 【業務内容】

- 常設展示では扱わないテーマや常設展示に関連するテーマ、ニーズの高いテーマを中心に企画展や講演会を実施。また、他館による巡回展の誘致や大学、企業などと連携した共催展等、常に新しいコンテンツを展開することで、幅広い学びと展示体験を提供し、リピーターの獲得をめざす。

#### 要求水準

- 子ども未来館の運営業務の年度実施計画提出の3ヶ月前までに企画展示の方向性を提出。
- 内容は、運営業務の年度実施計画の作成時に市と協議し、承認を得ること。
- 企画展は、ホールを中心に行うが、**館内全体を使った展示や演出**についても積極的に取り組む。

## 【運営内容の水準】

### ■セミナー・イベント事業

#### 【業務内容】

- 子ども未来館の話題性を常に高め、子ども未来館の事業に対する様々な年齢層の興味・関心を創出するためのセミナー、イベント等を開催。各テーマへの興味・関心の入り口となるよう、最新の情報や社会動向に関するテーマで事業を展開。

#### 要求水準

- 利用者の要望や社会動向等を考慮しながら、広く一般の人々に向けた様々なセミナーやイベントを開催するとともに、常設展や企画展のテーマに関連した講演会、シンポジウム等を実施。
- 様々なジャンルのパフォーマンスやライブペイント体験等、**利用者が参加・交流できるイベントを計画。**

### ■サイエンスショー・ワークショップ事業

#### 【業務内容】

- 常設展示室内に科学実験や実演、工作等ができる場を2か所以上設置。利用者が気軽に参加し、スタッフとコミュニケーションをとりながら学び楽しめる、サイエンスショー及びワークショップを日常的に実施。

#### 要求水準

#### 共通事項

- サイエンスショーを行っていない時にショーの内容をパネル展示するなど、閑散状態を作らないように留意。
- 1か所はサイエンスショーを行う場所、もう1か所はワークショップを行う場所とする。

#### サイエンスショー

- 以下の事業回数、開催時期を基本として、詳細は市と協議の上で決定。ただし、学校平日は利用者数を鑑みて実施。  
 春季学校休業期間 一日に4回以上 (1回30分程度)  
 夏季学校休業期間、休日 一日に6回以上 (1回30分程度)  
 平日 一日に2回以上 (1回30分程度)

#### ワークショップ

- 以下の事業回数、開催時期を基本として、詳細は市と協議の上で決定。ただし、学校平日は利用者数を鑑みて実施。  
 春季学校休業期間 一日に6回以上 (1回15分程度)  
 夏季学校休業期間、休日 一日に10回以上 (1回15分程度)  
 平日 希望者がいれば実施 (1回15分程度)



サイエンスショー

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影



ワークショップ

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

## 【運営内容の水準】

### ■活動プログラム事業

#### 【業務内容】

- いつでも誰でも参加できる科学実験やプログラミング、アート創作、ものづくり、自然観察、天体観測等、時流や季節を反映したテーマでプログラムを実施。

#### 要求水準

- 活動プログラム事業の成果品等は、多くの人が観覧できるように展示や情報発信を行う。
- 館内だけではなく、フィールドワークや天体観測等、館外でのプログラム等も積極的に実施し、備後圏域内を中心に各地で多様な活動を展開。

### ■クラブ活動事業

#### 【業務内容】

- 利用者が興味や関心のあるテーマについて、長期的・継続的に学び、実践することができるクラブ活動を実施し、ともに科学を学ぶ仲間を作る場を提供。メンバーを募集し、定期的に開催するとともに、成果品等は多くの人が観覧できるように展示や情報発信を行う。

#### 要求水準

- クラブ活動事業の成果品等は、多くの人が観覧できるように展示や情報発信を行う。



出典：福岡市科学館

## 【運営内容の水準】

### ■アワード事業

#### 【業務内容】

- 子ども未来館を特徴づける中心的な事業の一つとして、特定のテーマのもとで子どもから大人まで様々な層が自由に挑戦し、その成果を発表できる事業を展開することで、子ども未来館への主体的な参画と交流を促進。

#### 要求水準

子ども未来館  
アワード

- 特定のテーマや年齢別の参加部門を設定し、公募から発表までには、十分な準備期間を設ける。子ども未来館の関係者、有識者等による審査を行い、選ばれたアイデアは**子ども未来館と共同で展示や映像コンテンツとして製作**。
- 製作物は多くの人々が観覧できるように掲出や情報発信。

小規模  
アワード

- 子ども未来館アワードに比べ、より身近で小規模なテーマを設定し、簡易的な発表を実施。

スタジオ発表

- 活動プログラム事業やクラブ活動事業の一環として実施。



受賞作品の展示

出典：福岡市科学館

### ■地域連携事業

#### 【業務内容】

- 地域の団体や企業、研究機関と連携した事業を展開。活動内容や成果は企画展示等で公開するほか、館内での参加型イベント、地元企業の見学イベント等も計画。

#### 要求水準

- 地域に根差した事業は、適宜実施。
- 高校生や大学生が集い、活動する場として、学校のクラブ・サークル活動や科学に関する活動に対して積極的に支援等が行える体制を構築。
- 館内のエントランスや貸出可能なスペースを使い、市民の作品展や地域主催のセミナーを開催する等、地域交流を促進する場として活用。
- 子ども未来館を主体として地域の産業・技術の継承につなげる事業を実施。



地元事業者等と連携したイベント開催

出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ撮影

## 【運営内容の水準】

### ■施設連携事業

#### 【業務内容】

- 備後圏域内の公共施設や民間施設、国内外の科学館等との連携事業を展開する。イベントや活動プログラムの共同企画を通じて、備後圏域内外及び国内外の子ども未来館の活動の認知度向上をめざす。

#### 要求水準

- 備後圏域内外の施設との連携により相互に情報共有しながら最新の科学館等の動向や取組みを把握し、同時に**備後圏域内外での認知度向上をめざす**。

### ■学校連携事業

#### 【業務内容】

- 学校カリキュラムに対応した学習プログラムを用意し、小・中学校の校外学習を想定した事業を展開する。特殊な実験設備等、学校では体験できないプログラムを充実させ、学校利用の促進と学習効果の向上をめざす。

#### 要求水準

- 専門員により学校のカリキュラムをフォローアップする内容を中心とした特別なガイドを実施。
- 放課後プログラムとして、放課後に生徒等が来館して自由に過ごすことができるよう セミナー室等を開放し、活動プログラムやクラブ活動への参加を促す。
- セミナー室の昼食利用等が妨げられないよう開放時間を制限する等の対策を実施。

## 【運営内容の水準】

### ■アウトリーチ事業

#### 【業務内容】

- 子ども未来館側から出張するなど、積極的に活動を展開。

#### 要求水準

- 公共施設や学校、病院（院内学級）等に出張し、サイエンスショー等を実施する。また、移動可能なモバイル展示や、展示体験キット等を用意。
- 病院（院内学級）や福祉施設等に出張し、イベント等を通じて科学の楽しさを伝えるとともに、交流館等地域の人々が集まる場所に出向き、活動内容等の周知・理解促進や利用者の拡大につながる取組みを実施。
- アウトリーチ活動は開館前の段階から継続的に実施し、地域の人々に対する広報活動や、展示や演示、体験プログラム等の試行を行うことで、開館後の活動につなげる。

#### 【展開例】

例1：移動式設備を充実させ、出張展示やサイエンスショー、工作室等を展開

例2：小学校に出向いて、移動式プラネタリウムで星の位置関係を予習した後、市民ボランティアと連携した観望会を開催して本物の星を観察。

※移動式プラネタリウムの購入は必須。

## 【運営内容の水準】

### ■ボランティアの組織化・体制づくり

#### 【業務内容】

- ・ボランティアを科学館の運営の重要なパートナーとして位置づける。
- ・開業前からボランティアの仕組みを構築し、開館時に機能できるよう育成。
- ・ボランティアは講座等を通じて養成し、主に施設での展示解説やプログラムの企画開発や運営、地域での科学コミュニケーションに携わる活動を行う。

#### 要求水準

- ・多くの人が自発的・積極的に子ども未来館の運営に参加できる仕組みづくり。
- ・ボランティア組織を構築し、事務局を設置するとともに、募集、管理、研修等の業務を行う。
- ・ボランティアの館外活動についても積極的に取組む。

#### 【展開例】

- 例1：ボランティアが自ら企画提案し広報活動も含めてワークショップを定期的に開催。なお、材料代等の必要な経費の支出を支援
- 例2：事業の質を向上させるため、ボランティアと運営事業者が密に連携を図りながら運営
- 例3：ボランティアがやりがいを感じ、継続的な活動につながる表彰制度や活動内容の情報発信

### ■マーケティング・広報普及活動

#### 【業務内容】

- ・利用促進に向けて、マーケティングを行うとともに、子ども未来館の取組みや活動を市内外に積極的に発信し、子ども未来館の認知度向上に取組む。
- ・ターゲット層の興味・関心やニーズの分析等の需要調査を行い、調査結果を活用して効果的な情報発信につなげる。

#### 要求水準

- ・子ども未来館の認知度向上のため、ホームページやSNSを積極的に運用。
- ・ポスター・チラシ、パンフレット等各種メディアを活用するとともに、多くのコンテンツを載せたホームページやSNS等を展開。
- ・ホームページについては、利用者が追体験できるような特設ページを充実。

#### 【展開例】

- 例1：マスコットキャラクターを市民公募により作成し、子ども未来館の紹介動画を配信
- 例2：タブレット配信による小学生や中学生への情報発信のほか、学校を通じて生徒一人ひとりにイベント案内チラシなどを配付

## 【事業の実施回数】

事業	回数	展開例
企画展示	大規模な企画展：年2回以上 (夏季・冬季・春季休暇等の学校長期休暇中) 中型の企画展、本施設の独自企画等：年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自企画・独自開催の企画展</li> <li>大規模企画展（巡回展）の共催・誘致</li> </ul>
セミナー・イベント事業	月1回以上 (学校長期休暇中は回数を柔軟に増やす)  【サイエンスショー】 夏季休暇期間・学校休日：一日に6回以上（1回30分程度） 春季休暇期間：一日に4回以上（1回30分程度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライブアートイベント</li> <li>企画展示に関するセミナー</li> </ul>
サイエンスショー・ワークショップ	学校平日：一日に2回以上  【ワークショップ】 夏季休暇期間・学校休日：一日に10回以上（1回15分程度） 春季休暇期間：一日に6回以上（1回15分程度） 学校平日：希望者がいれば対応	—
活動プログラム事業	学校休日に2プログラムを一日に2回、午前と午後に分けて実施 (学校長期休暇中は回数を柔軟に増やす)	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学実験</li> <li>デジファブ工作教室</li> <li>プログラミング体験教室</li> </ul>
クラブ活動事業	週1回～月1回程度（開館年数毎に規定するクラブ数を逐年で実施） ・開館3年目まで：3クラブ ・開館4～5年目：5クラブ ・開館6～10年目：7クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学実験クラブ</li> <li>データサイエンスクラブ</li> <li>天文クラブ</li> </ul>
アワード事業	子ども未来館アワード：1回／年 小規模アワード：5回以上／年	—
地域連携事業	年1回以上 (夏季・冬季・春季休暇等の学校長期休暇中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業連携展示の開催</li> <li>市民団体共催イベント</li> </ul>
施設連携事業	周辺施設との一体的なイベント：3回／年 (夏季・冬季・春季休暇等の学校長期休暇中に1回ずつ) その他施設（図書館、美術館、博物館）との連携事業：1回／年	<ul style="list-style-type: none"> <li>他館プログラムの参加</li> <li>共同巡回展の開催</li> <li>近隣施設との共同事業</li> </ul>
学校連携事業	校外学習の受け入れ：市内含む備後圏域内の小学校から年間60校程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後プログラム</li> <li>オンラインでつながる特別授業</li> <li>大型LEDビジョンによる学習（天文学等）</li> </ul>
アウトリーチ事業	地域等へのアウトリーチ活動：年20回以上 病院や福祉施設等へのアウトリーチ活動：年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張プラネタリウムと出張展示</li> <li>出張サイエンスショー</li> <li>出張工作室</li> </ul>

## 【運営を支える事業】

### ■リサーチ事業

#### 【業務内容】

- 社会の潮流や最新の科学技術、国内外の科学館や文化施設の動向等を継続的に調査し、子ども未来館らしい最新情報を収集する他、利用者のニーズリサーチも行い、取り扱ってほしいトピック等のニーズを把握。
- リサーチ結果は、多くの人がアクセスしやすいように公開するほか、コンテンツ開発や活動プログラム事業等に反映。

#### 要求水準

- 利用者のニーズや子ども未来館にて取り上げるべきトピックを把握するためのリサーチを実施。

### ■開発事業

#### 【業務内容】

- 常設展示や企画展示、アウトリーチ事業の定期的な更新のため、展示コンテンツを開発
- 最新技術や社会課題等、新しいトピック情報を考慮し、映像や解説等の形でコンテンツ化
- プロトタイピング型のコンテンツ開発など、実験的な取組みによる展示も行い、利用者や有識者のフィードバックを受けながら、好評なものは常設展示化やアウトリーチ事業での活用など、段階的な発展ができるよう開発

#### 要求水準

- リサーチ事業で把握した利用者が求める要望や子ども未来館にて取り上げるべきトピックを事業に反映
- 利用者ニーズや外部ネットワークを活用し、展示事業や活動事業、連携・交流事業を定期的に更新

#### 【展開例】

例1：科学現象をVRやARで体験できる新規コンテンツ開発

例2：開発したコンテンツについて、学術顧問が科学的妥当性等を確認

## 【概算事業費】

(税込み)

区分	約5,400m <sup>2</sup>
建築	約58.4億円
イニシャルコスト	ブリッジ 約9.0億円
展示	約12.5億円
ランニングコスト	指定管理料 約2.5億円／年

※展示は設計費と工事費、ブリッジは設計費と工事費を含む。建築は左記以外の費用を合計した額であり、  
指定管理準備費や備品購入費等も含む。

※指定管理料は事業者が業務に要する費用から、事業者が業務を通じて得る収入を除いた額。

## 【参加資格要件】（一部抜粋）

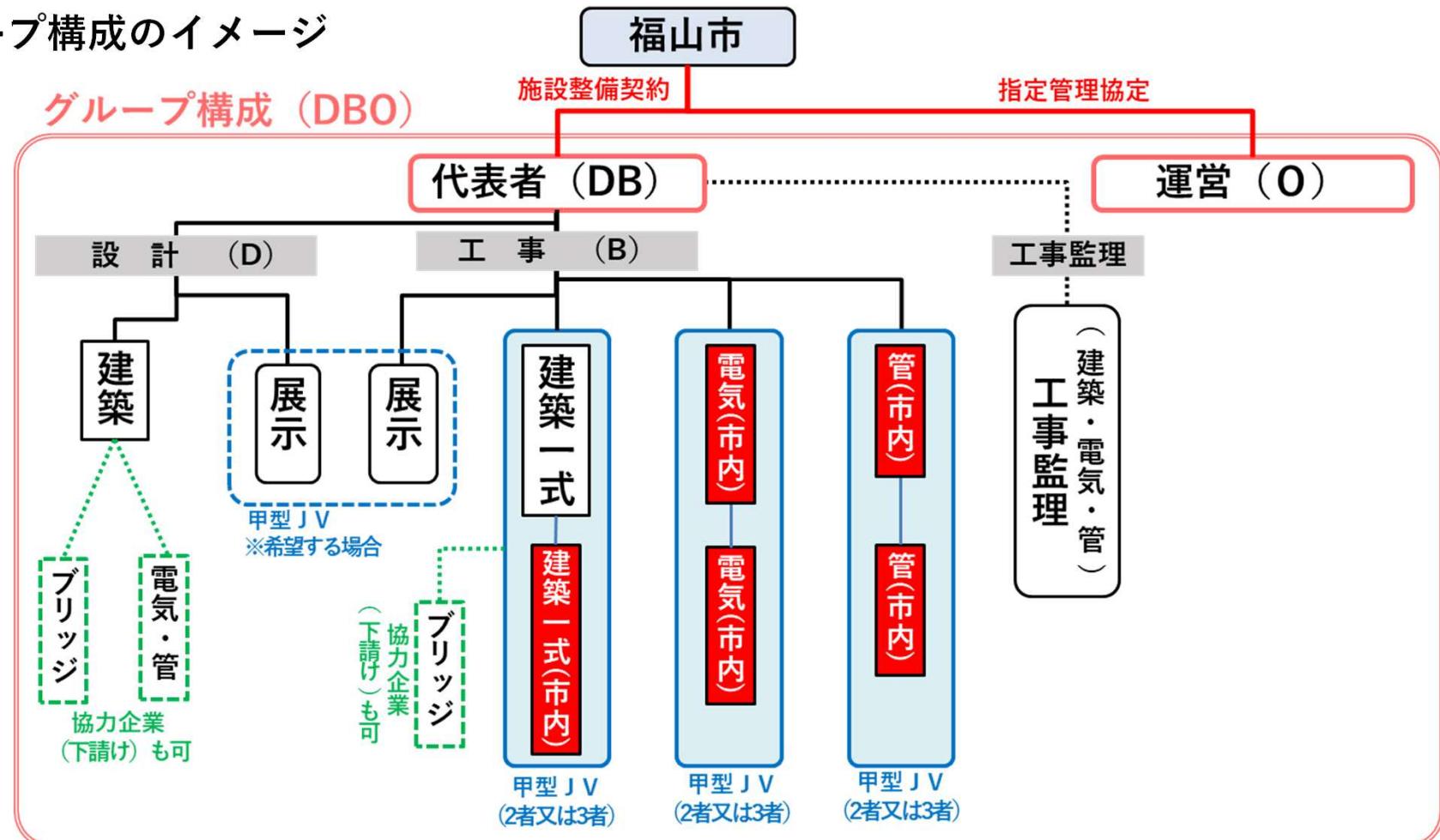
- ・ 応募者の代表企業、構成企業、これらの企業と資本面又は人事面において関連のある者が、他の応募者の代表企業又は構成企業として参加していないこと。
- ・ 選定委員会の委員及び委員が属する企業又はその企業と資本面又は人事面において関連のある者でないこと。
- ・ （仮称）子ども未来館開設準備委員会（2025年（令和7年）10月1日設置）の委員及びオブザーバー並びにそれらの者が属する企業又はその企業と資本面又は人事面において関連のある者でないこと。

## 【参加資格要件】

### ■応募者の構成

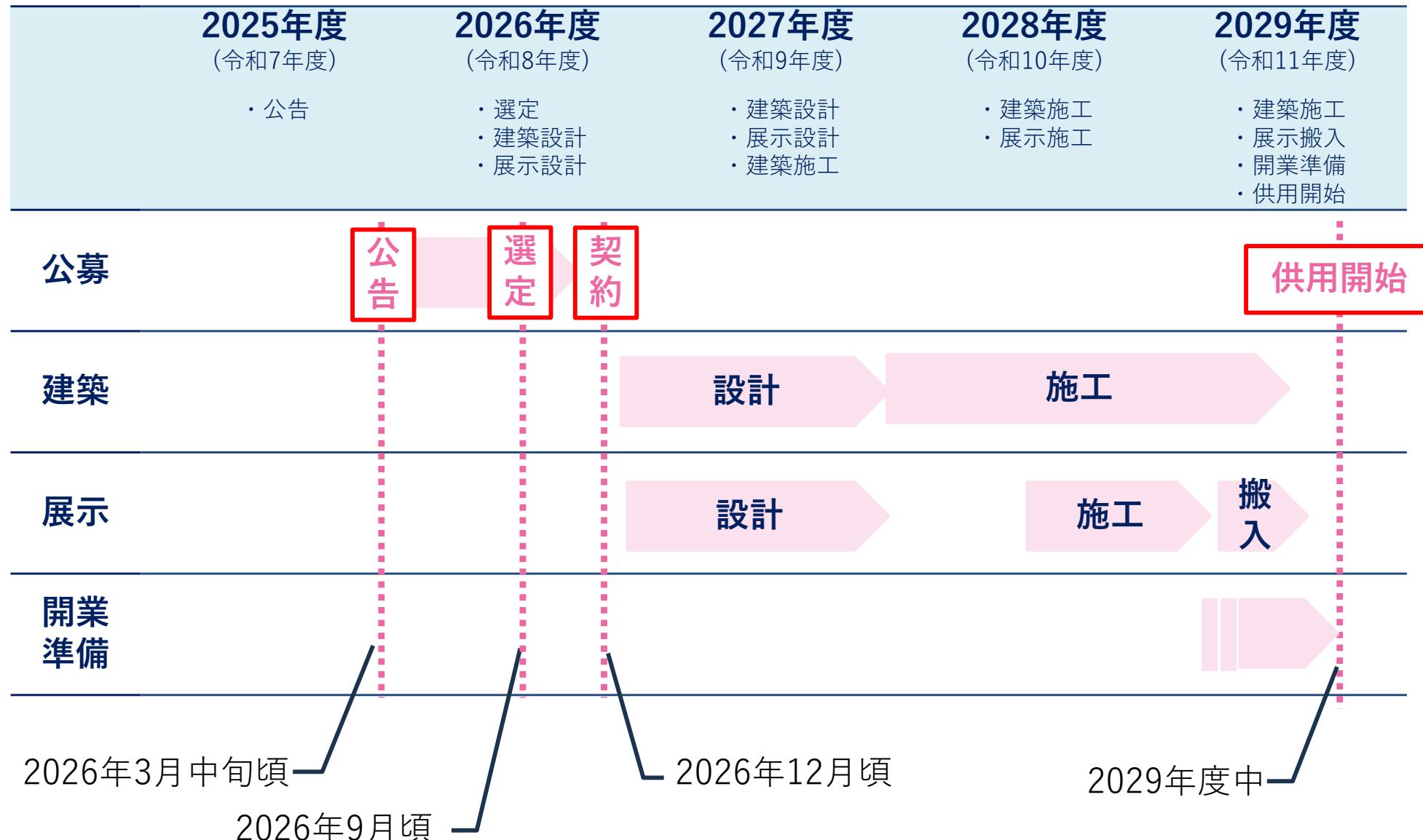
- 建築設計を行う者、工事監理を行う者、展示設計を行う者、ブリッジ設計を行う者（協力企業でも可）、ブリッジ工事を行う者（協力企業でも可）、建築一式工事を行う者、電気工事を行う者、管工事を行う者、展示製作を行う者、運営を行う者及び維持管理を行う者を含むグループ又は共同企業体を想定

### ■グループ構成のイメージ



※市内事業者（福山市内に本店を有する者）へ配慮

### 【スケジュール（予定）】



## 【概要】

- ・備後圏域のこどもたちがターゲット。
- ・先端技術や科学に触れながら、家族と一緒に楽しめるイベント。
- ・子ども未来館の機運醸成イベントとして、地元企業や大学、ボランティアとの連携を図りながら、将来、子ども未来館で展開するような、先端技術や科学の体験を提供。
- ・子ども未来館の供用開始後の運営もイメージしながら、引き続き、企業や大学、ボランティアとの連携体制の構築を図る。

## 【2025年度実績】

日 時：2025年(令和7年)11月15日(土) 10:00～16:00

場 所：エフピコアリーナふくやま（サブアリーナ等）

来場者数：2,890人 ※過去最大の来場者数 (R6：1,706人 R5：1,905人)

内 容：

- ・VR、プロジェクションマッピング
- ・プログラミング体験
- ・モノづくりワークショップ
- ・サイエンスショー（算数、宇宙）など
- ・企業や大学の協力によるブースも出展。それぞれの技術や研究内容を活用し、こどもたちがわかりやすく楽しめる体験を提供
- ・大学生ボランティアも講師やスタッフとして参加



## 《参考：イベント出展者の状況》

2025年度：大学3校、企業等12者、大学生ボランティア5人

2024年度：大学2校、企業等8者、大学生ボランティア10人